

# 東能勢中学校区 小中一貫教育校開校に向けた保護者・住民説明会 質疑応答要旨(令和3年12月17日・18日)

※質問・回答とも要旨を記載しております。  
※本説明会の趣旨に関係するもののみ掲載しております。

| No. | 項目     | 種類 | 質問内容                                                                                  | 回答内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|--------|----|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 保幼小中一貫 | 質問 | こちらに引っ越してきたときには、小中一貫の話が進んでいた。なぜ小中一貫が始まったのか教えてほしい。                                     | 子どもの少人数化、学校の老朽化が進む中、平成28年度3月に豊能町小中一貫教育等充実検討委員会「豊能町における小中一貫教育等の充実について」(答申)を受け、「豊能町保幼小中一貫教育検討委員会」を発足し、協議検討が重ねられ、平成30年2月豊能町教育大綱に「保幼小中一貫教育推進」が盛り込まれました。子どもたちの教育環境をよりよくするため、学校を再編統合し、保幼小中一貫教育を導入し、一定規模の学習集団を確保するとともに、0歳～15歳までの育ちと学びをつなぎ、教育の質を高める事を目的として始めました。子どもたちの発達の早期化という点から、4-3-2制を導入し、5・6年生に中学校的な指導を少しずつ取り入れていきます。 |
| 2   | 教育課程   | 要望 | 「保幼小中一貫教育の理念」として、“15年間の「学び」と「育ち」をつなぐ一貫した教育”と書いているが、中学校卒業後にどんな子どもに育てて欲しいのかをもう少し考えてほしい。 | 中学校を卒業し、豊能町から出て、様々な経験をし、社会で活躍できるような子どもたちを育てていきたいと考えています。先生方とも研修をし、義務教育を修了してからも、「自信をもって社会を生き抜く子どもたち」を育てるための取組みを考えています。また、学校運営協議会でも議論し、地域とも連携協働し、めざす子ども像の実現に取り組んでいきます。                                                                                                                                               |
| 3   | 教育課程   | 質問 | 6年間(1～6年)から9年間(1～9年)に変わること、どのようなカリキュラム変更があるのか。各教科のカリキュラムを「広報とよの」等に掲載してほしい。            | 各教科のカリキュラムを変更することはありませんが、小中連携の観点から、系統性を見据えた指導方法の工夫・改善に取り組んでいます。また、「とよの未来科」という新しい教科を創設し、豊能町について知り、豊能町の未来について考える学習を就学前から行います。                                                                                                                                                                                        |
| 4   | 教育課程   | 質問 | これまで田植えや稲刈などの体験をサポートしてきた。だんだんそのようなカリキュラムが少なくなっているように感じるが、新しい学校ではどのように考えているのか。         | 体験学習を通して学ぶことは、「とよの未来科」として教育課程に位置づけ、大切にします。「とよの未来科」では、子どもたちが実際に体験をする中で感じる疑問や課題を自ら解決していく探究的な学習に取り組んでいきます。また、そのような活動を通して多様な人と出会う機会を設定し、様々な価値観に触れる機会を大事にしています。                                                                                                                                                         |
| 5   | 業間     | 質問 | 6年生の3学期から業間がなくなるということだが、5年生も同じタイミングで業間がなくなるのか。                                        | 5年生については、子どもの様子を見ながら決定していきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|    |      |    |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                        |
|----|------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6  | チャイム | 要望 | チャイムはどうなりますか。                                                                                                                    | 中学校校舎のチャイムについては、7～9年生の授業に合わせて鳴らします。5・6年生と7～9年生では、授業の終わりの時刻が違いますが、5・6年生は、7～9年生の終わりのチャイムが鳴るまでは、教室から出ないようにします。                                                                            |
| 7  | 行事   | 要望 | 授業参観は、両方の校舎を参観できるように、同じ時間に開催するのは避けてほしい。例えば、同じ日の5時間目に小学校校舎、6時間目に中学校校舎など、工夫してほしい。                                                  | 大まかな実施時期を提示していますが、詳細については本日いただいたご意見も参考にしながら、今後決定していきます。                                                                                                                                |
| 8  | 入学式  | 質問 | 入学式を土曜日開催にできないのか。                                                                                                                | 代休等を考慮し、小中学校の入学式、卒業式は平日開催にしています。                                                                                                                                                       |
| 9  | 通学   | 意見 | 見守り協力表について、共働き世帯が多い中、現実的なのかと思う。                                                                                                  | 保護者の方の見守りについては、地域の方や一部の保護者に頼っている現状から、みんなで、できることから取り組んでいこうということで提案しています。強制ということではなく、あくまで協力という考えで提案されています。保護者アンケートの意見と地区委員さんとの話し合いを受け、最終案を提示します。                                         |
| 10 | 通学   | 要望 | 登校班について、地域の方の見守りには大変感謝している。保護者としても見守りに参加したいという思いはあるが、月1回の見守りというのはなかなか難しい。仕事が休みの日など、行ける時だけでも一緒に登校したが、平日となると難しい。                   |                                                                                                                                                                                        |
| 11 | 通学   | 要望 | 登下校について、中学生は役場の横の門から学校に入っている。前回の、12月3日の説明会で、その門を閉めたらどうかという意見があったが、子どもは嫌がっている。通学についても、子どもの意見を聞いてほしい。                              | 役場横の門からの出入りについては、保護者の方から意見として出ていましたが、決定事項ではありません。また、通学については、保護者の責任となりますので、保護者の方々からのご意見を丁寧に聞き、最終案をまとめていきます。                                                                             |
| 12 | 給食   | 意見 | なぜ給食の形態を変えてしまうのか。作り手人件費、工事代など弁当屋に頼めばそれで片付く話だが本当にそれでよいのか。地元の高齢者の方に手伝ってもらったり、西地区の管理栄養士に助けてもらったりして、子どもと大人が自然と関われば、感謝の気持ちも育めるのではないか。 | 中学校給食を始める前に、小学校で給食を作ることも検討しましたが、給食室から運び出す際の地形の問題、受入施設である中学校の整備・改修費用などから、デリバリー給食という選択となりました。令和7年度までは中学校ではデリバリー給食、小学校では自校で作る給食という形になりますが、令和8年度からは、西地区で給食をまとめて作り東地区に運ぶ「親子方式」による給食を考えています。 |
| 13 | 給食   | 要望 | 小学校の給食に地元の食材を入れてほしい。                                                                                                             | 小学校給食は、地元の米、納豆、味噌、野菜などを取り入れています。中学校ではデリバリー給食なので、町の食材を持ち込むことは難しいですが、米は豊能町産を使ってもらっています。納豆も年に何度か出しています。                                                                                   |
| 14 | 施設   | 要望 | 図面では、留守家庭児童育成室を新設するようになっているが、町も財政難の折、新築ではなく校舎内に設け経費削減はできないか。現建物(新しい小中一貫校の部屋)の有効利用を考え、節約してほしい。                                    | 現在の校舎では増築を行わなければ留守家庭児童育成室を校舎内に設けることができないのが現状です。保護者の方の送迎の利便性などを考慮し、東能勢中学校のグラウンド内に設置を考えています。                                                                                             |

|    |     |    |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                     |
|----|-----|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15 | 免許  | 質問 | 昔は、小学校の教員は小学生を、中学校の教員は中学生を教えていた。小中一貫校になったら教員免許についてどうなるのか。                                                                                                                                                                    | 中学校の教員は所有している免許の教科であれば、小学生に授業をすることができます。小学校の教員でも中学校の免許を所有していれば、中学生に授業をすることができます。小学校の免許しか所有していない場合でも、中学校の教員と一緒にあれば、中学生に授業をすることができます。 |
| 16 | 部活動 | 質問 | 部活動の希望制というのは、中学生が希望制なのか、小学生が希望制なのか。                                                                                                                                                                                          | 中学生が希望制ということです。もし、小学生が参加することになっても、同様です。                                                                                             |
| 17 | 部活動 | 要望 | 中学校の部活動は、6つ書いてあるが、男女で分けると実質4つしかない。西地区との交流し、大人数で活動ができるようにしてほしい。                                                                                                                                                               | 今後、積極的に進めていきます。部活動以外の交流も進めていきたいと考えています。また、今後、地域で部活を見てもらえるように移行することも検討しています。                                                         |
| 18 | その他 | 要望 | 学童の建物を建てるということだが、そこに大きな木がある。それを残してほしいという要望があると聞いている。                                                                                                                                                                         | グラウンド体育倉庫の横にあるメタセコイアの木のことと思います。非常に大きくなっており、強風による倒木の危険性があること、また、体育倉庫の屋根に葉が落ち、劣化の原因にもなっています。子どもの安全も考慮し決定します。                          |
| 19 | その他 | 要望 | 大学の先生は知識が豊富、難しいことも簡単に説明してくれます。町長の説明にもありましたが、産・官・学の協力を活かして欲しい。                                                                                                                                                                | 豊能町では、大阪教育大学、大阪成蹊大学、桃山学院教育大学と連携して教育を進めています。今年度も、阪大の留学生と中学生が交流学习を行いました。今後も、引き続き進めていきます。                                              |
| 20 | その他 | 意見 | 説明会で話を聞き、スライドで画像を見て、小中学校のイメージが湧き、期待感が持てた。教育委員会、PTA、先生方が会議を重ね、地域全体で準備をしてくれていることを嬉しく思う。先日、子どもが中学校給食を試食してきたが、「めっちゃおいしかった！！」と言っていた。私も以前試食したが、おいしくいただいた。給食会社も、色々と改善してくれているとのこと。感謝して、おいしくいただくことを、学校はもちろんだが、家庭でも指導していくことが大事なのではないか。 | ありがとうございます。多くの方々の協力を得て進めています。給食については、子どもたちにも試食会を実施し、肯定的な意見もたくさんもらっています。ご家庭でも、前向きな声かけをしていただけると有難いです。                                 |
| 21 | その他 | 意見 | 本日の出席率を見て、反省している。45日くらい前に開催日が分かれば、各自治会に周知を図り出席を求めたい。                                                                                                                                                                         | お知らせが1か月前となり申し訳ございませんでした。今後、開催日が決まり次第周知させていただきます。                                                                                   |
| 22 | その他 | 要望 | 以前のように、リモートでも開催していただきたい。                                                                                                                                                                                                     | 今後、前向きに検討させていただきます。                                                                                                                 |
| 23 | その他 | 要望 | 説明会が2日間しかなく、小さい子どものいる家庭は、参加したくても参加が難しい。説明会を録画するなどして、ホームページ上に掲載してほしい。                                                                                                                                                         | 録画については、著作権などの問題があるため、もう少し検討させてください。また、ホームページ上に「豊能の風」「広報とよの」を掲載しています。そちらにも、これまでの経緯や各学校園所の取組みを掲載していますのでご覧ください。                       |